



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 東京精密

上場取引所 東

コード番号 7729 URL <http://www.accretech.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 吉田 均

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 CFO (氏名) 川村 浩一

TEL 042-642-1701

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	17,962	9.5	1,802	42.5	1,895	43.5	1,402	45.0
2019年3月期第1四半期	19,841	0.4	3,134	22.3	3,354	18.8	2,551	11.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 991百万円 ( 35.8%) 2019年3月期第1四半期 1,545百万円 ( 50.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	33.70	33.51
2019年3月期第1四半期	61.43	60.96

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	151,428	105,675	69.0
2019年3月期	157,573	107,403	67.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 104,428百万円 2019年3月期 106,031百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		59.00		66.00	125.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		38.00		38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年3月期第2四半期末と同期末配当金につきまして、それぞれ創業70周年記念配当10円(年間20円)を含んでおります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	16.0	5,900	42.4	5,900	45.2	4,200	46.8	101.00
通期	88,000	13.3	12,500	38.2	12,500	39.9	9,000	38.6	216.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 有 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	41,667,481 株	2019年3月期	41,598,381 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	36,846 株	2019年3月期	36,791 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	41,620,930 株	2019年3月期1Q	41,543,976 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっては、添付資料1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済は底堅く推移したものの、激化する米中貿易摩擦や中国経済の減速、欧州における英国Brexit問題等に起因する混迷、加えて地政学リスクの高まり等により先行き予断を許さない状況が続き、全体として停滞感が強まりました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、受注高186億68百万円（前年同期比33.8%減）、売上高179億62百万円（前年同期比9.5%減）、営業利益18億2百万円（前年同期比42.5%減）、経常利益18億95百万円（前年同期比43.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億2百万円（前年同期比45.0%減）と減収減益となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下の通りです。

#### 【半導体製造装置部門】

半導体製造装置部門では、前年度後半から続くメモリ半導体の調整長期化に加え、米中貿易摩擦等を背景とした半導体・電子部品メーカーの慎重な投資姿勢などにより、受注環境は全般に軟調となりました。そんな中で、半導体・電子部品関連新興企業が急速に拡大する中国や、パワー半導体・センサ関連分野の需要は相対的に堅調に推移しました。こうした環境の下、当社装置の受注高および売上高は、前年同期比で減少しました。

当部門における当四半期の受注高は106億94百万円（前年同期比44.7%減）、売上高116億76百万円（前年同期比8.9%減）、営業利益は13億58百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

#### 【計測機器部門】

計測機器部門では、主要ユーザである自動車関連業界の設備投資の延期、見直しに加え、工作機械受注減少等モノづくり業界全般の設備需要減速、国内中堅中小企業の政府助成金審査待ちの影響等により、当社装置の受注高および売上高は、前年同期比で減少しました。

当部門における当四半期の受注高は79億74百万円（前年同期比10.0%減）、売上高62億85百万円（前年同期比10.4%減）、営業利益は4億43百万円（前年同期比70.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 【資産、負債及び純資産の状況】

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ61億44百万円減少し、1,514億28百万円となりました。減少の主な要因は、受取手形及び売掛金、電子記録債権の減少72億84百万円、現金及び預金の減少33億42百万円、仕掛品、原材料など棚卸資産の増加28億15百万円、建設仮勘定の増加15億56百万円等であります。

当第1四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ44億16百万円減少し、457億53百万円となりました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金、電子記録債務の減少43億73百万円、未払法人税等の減少29億26百万円、長期借入金の減少10億円、その他流動負債の増加43億63百万円等であります。

当第1四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ17億28百万円減少し、1,056億75百万円になりました。この結果、自己資本比率は69.0%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、前回発表時(2019年5月14日)の見通しを変えておりません。

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、内外の経済状況、為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。これらは、市況、競争状況、新製品の導入及びその成否を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益は、記載されている予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,518	38,175
受取手形及び売掛金	29,230	22,876
電子記録債権	6,915	5,985
商品及び製品	1,830	1,915
仕掛品	19,999	21,804
原材料及び貯蔵品	8,165	9,090
その他	2,510	2,206
貸倒引当金	△ 75	△ 65
流動資産合計	110,094	101,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,407	15,332
その他(純額)	17,739	19,278
有形固定資産合計	33,147	34,611
無形固定資産		
のれん	82	57
その他	3,691	4,351
無形固定資産合計	3,773	4,409
投資その他の資産		
その他	10,557	10,418
貸倒引当金	△ 0	—
投資その他の資産合計	10,557	10,418
固定資産合計	47,478	49,438
資産合計	157,573	151,428

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,350	7,547
電子記録債務	16,977	14,407
短期借入金	1,300	1,300
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	3,519	592
引当金	1,375	662
その他	6,425	10,789
流動負債合計	40,948	37,299
固定負債		
長期借入金	8,000	7,000
役員退職慰労引当金	53	49
退職給付に係る負債	809	1,064
資産除去債務	241	233
その他	116	106
固定負債合計	9,220	8,454
負債合計	50,169	45,753
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,591	10,661
資本剰余金	21,608	21,678
利益剰余金	72,200	70,860
自己株式	△ 120	△ 120
株主資本合計	104,280	103,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	868	653
為替換算調整勘定	199	83
退職給付に係る調整累計額	683	612
その他の包括利益累計額合計	1,751	1,349
新株予約権	784	665
非支配株主持分	587	580
純資産合計	107,403	105,675
負債純資産合計	157,573	151,428

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	19,841	17,962
売上原価	11,933	10,862
売上総利益	7,907	7,100
販売費及び一般管理費	4,773	5,297
営業利益	3,134	1,802
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	30	32
為替差益	108	79
補助金収入	47	—
その他	41	11
営業外収益合計	235	131
営業外費用		
支払利息	8	21
固定資産除売却損	—	10
その他	6	7
営業外費用合計	14	38
経常利益	3,354	1,895
特別利益		
新株予約権戻入益	2	2
特別利益合計	2	2
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	3,357	1,897
法人税、住民税及び事業税	1,006	683
法人税等調整額	△ 215	△ 177
法人税等合計	790	505
四半期純利益	2,566	1,391
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	14	△ 10
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,551	1,402

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,566	1,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 482	△ 214
為替換算調整勘定	△ 461	△ 114
退職給付に係る調整額	△ 76	△ 70
その他の包括利益合計	△ 1,021	△ 399
四半期包括利益	1,545	991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,531	1,000
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△ 8

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

## たな卸資産の評価方法の変更

当社のたな卸資産(仕掛品を除く)の評価方法は、従来、先入先出法による原価法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間の期首より総平均法による原価法に変更しております。

これは、新基幹システムが当第1四半期連結会計期間の期首に稼働したことを機に、先入先出法より総平均法にて在庫評価を行う方が、より適切なたな卸資産の評価及び期間損益計算を行うことが出来ると判断したことによる変更であります。

なお、過去連結会計年度について、総平均法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の帳簿価額を当第1四半期連結会計期間の期首残高として計算しております。

なお、この会計方針の変更による影響額は軽微であります。

## 国際財務報告基準第16号の適用

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用にあたりましては、経過措置として認められている、基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、この会計方針の変更による影響額は軽微であります。

## (セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	12,822	7,018	19,841	19,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	12,822	7,018	19,841	19,841
セグメント利益	1,630	1,503	3,134	3,134

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	11,676	6,285	17,962	17,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	11,676	6,285	17,962	17,962
セグメント利益	1,358	443	1,802	1,802

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。